経営比較分析表（令和6年度決算）

北海道　津別町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	39.94	18.69	100.00	3,393

人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
3,970	716.80	5.54
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
731	0.15	4,873.33

グラフ凡例
- ■　当該団体値（当該値）
- ー　類似団体平均値（平均値）
- 【】　令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

【100.11】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	116.09	110.66
平均値	-	-	-	96.48	100.84

②累積欠損金比率(%)

【144.34】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	0.00	0.00
平均値	-	-	-	224.60	135.17

③流動比率(%)

【114.26】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	815.37	92.94
平均値	-	-	-	132.16	113.41

④企業債残高対事業規模比率(%)

【876.32】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	1,779.84	1,698.39
平均値	-	-	-	992.16	950.64

⑤経費回収率(%)

【39.48】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	49.41	50.24
平均値	-	-	-	45.55	38.55

⑥汚水処理原価(円)

【390.09】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	549.57	592.61
平均値	-	-	-	331.17	391.34

⑦施設利用率(%)

【45.56】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	67.14	64.86
平均値	-	-	-	45.93	44.52

⑧水洗化率(%)

【82.62】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	77.71	79.62
平均値	-	-	-	82.98	82.90

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

【39.30】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	6.74	13.29
平均値	-	-	-	39.70	39.79

②管渠老朽化率(%)

【-】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	-
平均値	-	-	-	-	-

③管渠改善率(%)

【-】

	R02	R03	R04	R05	R06
当該値	-	-	-	-	-
平均値	-	-	-	-	-

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率は100%を上回っており、経常利益を確保している。類似団体平均と同水準にある。
・累積欠損金比率は累積欠損金を生じていない。
・流動比率は類似団体と比較して同水準にあるものの、100%を下回っているため支払能力を高めるための経営改善が必要となっている。
・企業債残高対事業規模比率は類似団体平均、全国平均を上回っており、投資規模や使用料水準が適切か検討する余地がある。
・経費回収率は維持管理に係る費用を使用料で賄い切れていないため、不足する分を一般会計から繰入れしている状況である。類似団体平均と比較して高い数値ではあるが、経費節減により維持管理費を圧縮することや使用料改定を検討する必要がある。
・汚水処理原価は類似団体と比較して約２倍となっており、汚水処理に係るコストが高い状況にある。
・施設利用率は類似団体と比較して高い値にあり、施設のスペックや稼働状況はおおむね適正と考えられる。
・水洗化率は類似団体と比較して低い値にあるが、改善傾向にあることから、今後も普及促進を継続するためにも経営状況の改善に向けた検討を進める必要がある。

2. 老朽化の状況について

事業開始から相当年数経過していることから、事業開始当初に設置した浄化槽については修繕費用が高くなっているものもある。
供用開始から相当年数経過した浄化槽については、メンテナンス等をこれまで以上に徹底することにより、実用耐用年数を延長させる取り組みが求められているが、耐用年数を考慮し適切な更新時期を逸することの無いよう、日頃より各浄化槽の状況把握を行う必要がある。

全体総括

津別町の生活環境の向上を図るうえで、下水道を補完する事業として重要な役割を担っているため、今後においても経営の安定に向けた取組を継続することが重要となっている。